

## 9-4 自動棚割で派生パターンを作成する

## 概要

自動棚割画面で「基準棚割」や「過去棚割」、「売上情報」などの情報を設定し、設定された情報をもとに店 POWER が自動で派生パターンの作成を行います。陳列条件や什器の条件を判定するために、基準となる棚割パターンの選択と、自動棚割で作成したい派生棚割の過去の棚割パターンの選択など、条件を指定することで指定された条件を元にした棚割パターンを提案します。

毎シーズンごとに大量の棚割パターンの作成をしている場合は、業務の軽減につながります。

## 操作方法

## 自動棚割を実行し、派生パターンを作成する

1. [棚割操作] - [自動棚割] - [自動棚割 (派生展開)] をクリックします。
2. 出力状況確認画面の下部にある「派生展開予約登録」をクリックします。
3. [棚割モデル選択] をクリックし、それぞれ新規基準モデルと過去基準モデルを選択します。(①)
4. 過去派生モデルを選択するため、「棚割モデル選択」をクリックします。(②)  
自動棚割設定画面が表示し、商品ランクを指定し「設定」ボタンをクリックします。他項目の設定は任意です。  
※設定の詳細は下記の「自動棚割画面を設定する」項目をご覧ください。  
派生棚割として作成したい過去のパターンを選択し、「設定」ボタンをクリックします。
5. 発売中止商品をチェックするため、日付を指定します。(③)
6. [実行] ボタンをクリックします。(④)
7. [確認] 画面が表示します。出力予約処理をするための名称を入力し、[OK] ボタンをクリックします。
8. 出力状況確認画面に処理の予約状況が表示されます。

自動棚割(派生展開) ×

新たな派生棚割モデルを自動作成します。基準となる最大パターンの棚割モデルを新旧2つ選択してください。

**棚割モデル選択(H)** 1

新規基準モデル

項目	情報
棚割モデル名称	調味料3尺4本パターン
カテゴリー	1010 : 調味料
業態	1 : 業態1
店	2400000 :
棚割モデル種別	実施
展開時期	

過去基準モデル

項目	情報
棚割モデル名称	調味料3尺4本パターン
カテゴリー	1010 : 調味料
業態	1 : 業態1
店	2400000 :
棚割モデル種別	実施
展開時期	

指定日以前の発売中止日をチェックします。

3

過去派生モデル  
過去の派生棚割モデルを選択してください。 2

2

実行(S)

4

終了(E)

## 自動棚割画面を設定する

- 過去派生モデルにて「棚割モデル選択」をクリックすると、自動棚割設定画面が表示されます。
- 派生モデルを作成するにあたり、プロテクト商品とフェイス数指定商品を指定します。(任意) …①  
右側のフォルダマークより、それぞれの商品が記載されたファイルを参照します。  
プロテクト商品は共通商品コード (JAN コード) を A 列に記載 (タイトル不要) した Excel・CSV ファイルをご用意ください。  
フェイス数指定は共通商品コード (JAN コード) を A 列に、フェイス数を B 列に記載 (タイトル不要) した Excel・CSV ファイルをご用意ください。  
詳細は仕様マニュアル内「[自動棚割設定](#)」をご確認ください。
- 商品ランクを設定します。売上情報を元にランクを算出します。(必須) … (②)  
店POWERに登録した売上情報を使用する場合は「売上情報」より該当の売上を選択します  
店POWERに登録がない場合、あるいは登録している売上情報とは別に設定したい場合は「ファイル」より対象のファイルを選択します  
※ファイルに記載する内容については、仕様マニュアル内「[自動棚割設定](#)」をご確認ください。
- 必要時は商品グループを設定します。(任意) … (③)  
ゾーニングを加味するため、商品がどのグループ (メーカーや品種) に属するかを設定します。  
店POWERに商品分類の登録があれば「商品分類」より選択します  
店POWERに商品分類の登録がない場合、あるいは別に設定したい場合は「ファイル」より対象のファイルを選択します  
※ファイルに記載する内容については、仕様マニュアル内「[自動棚割設定](#)」をご確認ください。
- [設定] をクリックします。

## 特記事項

- 設定画面に入力した発売中止日より以前の商品が含まれていたり、終売商品が含まれている場合は「実行」ボタンを押した際に「新規基準パターンに発売中止商品が陳列されています。続行しますか？」のメッセージが表示します。